

# パレット

女性も男性も輝くために



7月6日(日)にパパのためのベビーマッサージ講座が開催され、9組の親子が参加しました。この日は赤ちゃんのマッサージはパパが担当し、ママは手を出したくても我慢して、じっと見守るだけ。英国式インファントマッサージインストラクターの高橋晴美さんのご指導のもと、我が子とのスキンシップを楽しむパパの様子は微笑ましく、赤ちゃんもとても気持ちよさそうにしていました。後半はグループに分かれて、家事や育児に対するふだんのパパの様子や、子育ての悩みなどを話し合いました。家族同士の交流は、パパたちにとって貴重な体験になりました。



## 谷久子さん



平成6年に農業研修に参加し、アメリカ・カナダへ2週間行ってきました。地域の専業農家の女性たちとグループを立ち上げて自主的な活動もしています。米作りには自信があります。



夫と果樹栽培をしています。平成7年に果樹栽培農家の女性たちと、果樹部会レディースを立ち上げ、活動しています。

## 須永由美子さん



✪女性農業士(\*1)とは  
主体的に農業経営に参画し、農村社会における男女共同参画や農村地域の活性化等を行っていただく女性を、「女性農業士」として県が認定しています。今回、取材させていただいた4人の方々もそれぞれの地域の中でリーダーとして活動されています。

### ✪女性農業士の主な認定基準

- ・地域農業の中核者として模範的な農業経営及び農家生活を実践している女性で、農業振興事務所、JA、市長の推薦を受けた者。
  - ・主体的に経営に参画し、就業条件の整備等に常に熱意を有する者。具体的には「家族経営協定」を締結しており、自分名義の農業収入があること。
  - ・農業振興等を目的とした女性組織のリーダーとして活躍したものの、または活躍している者。
  - ・年齢35歳から55歳までの者。
- (2014年5月現在、栃木県の女性農業士は114人、佐野市の女性農業士は4人)

### ✪第6次産業(\*2)とは

第1次産業である農業などで生産された食品を加工して、販売までを一元的に実施する産業のこと。加工することが第2次産業、販売することが第3次産業となるため、1と2と3を足し、もしくは掛けて第6次産業と呼ばれる。

### ✪家族経営協定(\*3)とは

農業にたずさわる各世帯員全員が、経営方針や役割分担、就業環境などについて、十分に話し合っ取り決める家族間の経営協定です。経営主だけでなく、配偶者や後継者など家族全員が意欲とやりがいをもって経営に参画できることを目的としています。

佐野市では平成26年度から、「佐野市男女共同参画プラン(第二期)」が新たにスタートしました。本計画では、「政策・方針決定過程への女性の参画促進」を重点施策の一つに位置づけ、審議会委員、町会役員等へ積極的に女性を登用するとともに、企業、事業所、団体等にも方針決定過程への女性の参画拡大を働きかけています。なかでも農業委員やJA・商工会役員への女性の登用は依然として低い割合にとどまっております。家族経営的な農林業および商工業の分野での男女共同参画の一層の推進が課題とされています。

では、実際に農業を職業とされている女性の方は、どう思っているのでしょうか。農業分野における男女共同参画推進のリーダーとして活躍している4人の女性農業士(\*1)の方からお話をうかがいました。(取材日 平成26年5月14日)

# 収穫の喜びがあるから 農業は楽しい!!

～女性農業士さんに聞きました～

### 女性農業士に認定されてよかったこと

- ・農業を通じて県内に友人・知人がたくさんできたこと。
- ・農業士の会合を通じて、農業に関する政策の幅広い情報を共有できるようになったこと。
- ・農業士の認定基準である家族経営協定(\*3)を結ぶことによって自分名義の所得が確保でき、仕事や活動の幅が広がったこと。

### 農業分野における男女共同参画の課題について

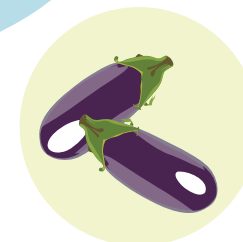
- ・専業農家の嫁は、一年中常に仕事があり、ほっとできる時間が少なく、なかなか外に出られない。そういう人が、なんとかもっと外に出る機会があるといいと思っている。グループ活動は、女性が外へ出る機会を提供するという意義もある。
- ・女性の役員や女性農業士が増えない理由の一つに、夫や息子を差し置いて農業士になることに対する、義父母への遠慮があるのではないかと。
- ・家族経営協定を結んでいる人が少ない。男性は「縛られるのが嫌」と避けたい傾向にある。
- ・女性農業士の多くは、第6次産業で頑張っている。この分野の発展と農業分野での女性の地位向上は、深い関係にあると感じている。

### 今後の抱負

- ・後継者を見つけること。そのために農業の楽しさを伝えていきたい。
- ・消費者の多くは、値段の安さを優先する。そのため、コストをかけて、いくら良い物を作っても、値段が高くなってしまい買ってもらえない。農業を守るといふ観点からの食育の重要性を訴えていきたい。

## 福田フミエさん

平成10年に、栃木県初の女性農業士になりました。自家生産する野菜を加工し、販売しています。平成15年にヨーロッパへ農業研修に行ってきました。第6次産業(\*2)での女性の起業を応援しています。



## 立川勝美さん

農業をしながら、旧葛生町の町会議員としても活動してきました。農業政策に積極的に意見を述べています。第6次産業に取り組み、もっちりコロッケ、じゃがまる、いもフライを作り始めました。



### 取材を終えて

- ・とても明るく元気いっぱいの皆さんですが、嫁いだ当時は、お嫁さんの立場で義父母への遠慮もあり、農家の家庭で男女共同参画を実践するのは難しいことだったのだと思いました。手をかけて大切に育てた農産物を収穫するときのお話では笑顔がこぼれ、農業が好きという思いがよく伝わってきました。農業問題の解決は難しいことが多いと思いますが、4人の皆さんからは佐野市の農業の明るい未来を感じました。
- ・「消費者は値段の安さだけで選んでいる。」という言葉に、買う側として反省させられました。地域の、そして日本の農業を支えるという視点を持って、商品を選択していくことが、買う側の責任だと思いました。
- ・4人の女性に共通するのは、それぞれの地域の中で女性のグループを作り、活動していらっしゃることで、互いに悩みを共有したり、励ましたり励まされたり。農業分野で女性が活躍するために、女性リーダーが果たす役割は重要であると実感しました。



# パレットプラザさの講座レポート



男女共同参画推進センター（パレットプラザさの）では、「男女共同参画ネットワークさの」に加入する団体が、それぞれの活動を活かした講座を開催し、様々な視点から男女共同参画について学んでいます。

今後の予定については、広報さのや市のホームページで随時お知らせします。みなさんの参加をお待ちしています。

5/29

## フラットで幸福な国デンマークを訪問して

（主催 とちぎつばさの会佐野支部）

とちぎつばさの会会員のデンマークへの訪問研修について、佐野支部から参加した橋本喜美子さんと大西正子さんの報告をお聞きしました。

デンマークは医療費や大学までの学費の自己負担が無く、社会保障が充実している国です。所得税は平均25%ですが、国民は支払うのではなく預けるという考え方だそうで、日本との意識の違いを感じました。

また、デンマークでは国会議員の三分の一以上が女性とのこと。日本も「女性の社会進出」が進み、女性の議員さんが増えることを期待しています。佐野市子どもに優しい街、みんなが認め合える街になるといいですね。



6/22

## タイ料理に挑戦しよう！

（主催 国際交流たみの会）

犬伏地区公民館で開催された今回の講座は、外国の方も数多く参加して和やかな雰囲気でのびのびと始まりました。

タイ出身の細淵ジエさんが指導する「鶏肉のハーブ炒め（パッカパオパイ）」をメインディッシュに、小野ジョイさんが「イカの春雨サラダ（ヤンブセン）」、内池ノンヤオさんが「タピオカ入りココナツミルク（サクカティ）」の合計3品をご指導いただきました。

約30人の参加者は4班に分かれて作業を分担し、調理の後は楽しくおしゃべりをしながらの会食となりました。

今回指導していただいたタイの家庭料理は、細淵さんたちが母親の手伝いをしたり、料理をする母親の姿を見ながら覚えたそうです。料理と言えば料理学校やレシピ本で習うことが多い今の日本。大切なものをどこかに忘れてきたのかもかもしれません。



7/7・7/14

## みんなのヨガ

大好評！

（主催 特定非営利活動法人COCO A）

全米ヨガアライアンス認定インストラクター神山慶さんのご指導のもと、初心者向けのヨガ講座が開催されました。

ヨガは誰かと競争したり比べたりするスポーツではなく、ポーズがきついと感じた時は無理をすることなく、楽しく行うことが大切とのこと。また、呼吸と体の動きを合わせ、背骨を伸ばしたり、足や腕を伸ばすことで血液の流れを感じ、頭の中まですっきりさせてくれます。

講師の神山さんは、ヨガの効果を多くの人に伝えたいと考え、出産を機会にインストラクターの資格を取得したそうです。

初心者でもわかりやすい指導と、素敵な笑顔でヨガの素晴らしさが伝わり、心身共にリフレッシュできました。



タイ料理がとても美味しく作れました。

【編集】佐野市男女共同参画情報紙編集委員  
【発行】佐野市市民生活部人権・男女共同参画課  
TEL 0283-0003  
FAX 0283-2277  
E-mail jinkendaiyo@city.sano.lg.jp

編集委員  
井原陽子・今井美砂子・岩永秀彦  
金子庸三・中里聖子・初山マサ子

パパのためのベビーマツサージ、微笑ましいですね。佐野の名物はラーメンですが、イクメンも佐野名物に加えたらいかがでしょうか。  
男女共同参画情報紙ということで頑張る女性を紹介する記事が多くなりませんが、家事や子育てに積極的に参加する男性が目指しているんです。わたしもイクメンが目指したときにも育児休業が取る制度もあるといいですね。

編集後記

## 相談のお知らせ

一人で悩まないでお気軽にお電話ください。（27-2354）  
秘密は厳守します。

女性のためのカウンセリング相談（要予約）

毎月第1・第3木曜日（祝日等の場合翌週）  
午前10時～11時50分（相談時間50分）

消費生活相談

毎月第4水曜日（祝日除く）午前9時30分～11時30分

女性相談

毎月第4木曜日（祝日除く）午前9時30分～午後4時

女性の再就職相談会（要予約）\*託児サービスあり

毎月第3金曜日 午前10時～正午

\*ハローワーク足利・マザーズコーナーの相談員が相談をお受けします。